

力あわせ 近畿の皆さんと 願い実現、政治動かす



経済 アベノミクス 正面対決



予算委員会質問(14年10月8日)

安倍政権の経済政策・アベノミクスをいち早く予算委で取り上げ、格差拡大と「大胆な量的緩和」の危険性を明らかに。経済論戦は専門家も注目、雑誌「アエラ」は「経済に関する切り札」と紹介。

「非正規」が社会問題化し始めた2004年、雇用の規制緩和路線を批判。当時、若者を食い物にしていた派遣大手のクリスタルグループ(本社・京都市)の違法行為を追及し、廃業に追い込む。



京都のメーデー集会で(5月1日)

雇用

非正規問題
いち早く追及

中小事業者 「頼りになる」 と絶賛



兵商連共済会第36(6月7日)
兵商連共済会総会で

中小事業者への貸しはがしや商工ローン被害の解決、強権的徴税の是正など実績多数。被災事業者を支援する「グループ」補助金の創設・拡充をすすめ、現地の商工会議所などから「自民党より頼りになる」と絶賛。

東日本大震災の被災地にカジノをつくる動きを阻止。「人の金を巻き上げて何が経済成長か」と、安倍首相にカジノ議連最高顧問を辞任させる。いま、全国の反対運動と連携。

「大阪にカジノは
いらん」の集会で
(2月20日)



カジノ やめよ

座右の銘 「意気に 感じる心」

中学生時代は大変な「問題児」。担任だった植山先生だけは大門さんを見放さず、自宅を訪ねては「キツネうどん食いにいこか」と連れ出してコンコンと説教。熱

心さに何とか立ち直り、高校へ進学することができました。植山先生の口癖は「男は意気に感じる心を忘れたらアカンで」。以来、座右の銘は「意気に感ず」に。